

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス ほみいくらぶ		公表日		令和7年2月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員に対し、指導訓練室のスペースが適切であるか	○		・利用している児童が体を動かして活動できるスペースが確保されている	・イベント後などに使用した物が少しの機関そのままになってしまう事があるので安全面の管理をしっかりやりたい
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	○		・児童の心理状況や体調によって対応出来る人員配置が出来ている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化や環境上の配慮が適切になされているか	○		・入口のスロープの設置やトイレの手すり等環境上の配慮がなされている ・玄関の段差があるが、指導員2名で対応しているので問題はないと思う	
	4	送迎中の乗車や降車の際に車内の確認や消毒を徹底して行っているか	○		・送迎前後の消毒の徹底とミーティングでもその都度全体に向けた周知がされている ・毎日十分に気を付けている。乗車中は換気も行いつつ室温(車内の)調整もしっかりしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	○		・子どもの状況に応じて個別対応できる環境を整備している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		・実際に計画を実施した上でそのままにせず振り返りを改善案を考え次の計画に活かされている	
	7	保護者等向け評価表を活用しアンケート調査を実施し保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		・保護者へ定期的に評価アンケートを配布し、意向を反映しやすい形をとっている ・HPにて公表している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		・ミーティングや職員面談の中で職員の意見が反映されるよう取組を行っている。 ・毎朝のミーティングや評価表を大切に直接関わる指導員の考えを大切にしている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・外部からの評価は受けていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	○		・定期的に外部研修を受講する機会がある ・社内・社外どちらも必要なもの、興味のあるものを学べるようにしている	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○			
	12	こどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○		・子どもと保護者のニーズ、課題について分析した上で個別支援計画の作成を行っている	
	13	個別支援計画を作成する際には児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○		・ミーティングの中で児童の課題やこれからの事について共通認識を持った上で支援が出来るよう意見交換がなされている ・関わっている指導員に考えをきき、必要に応じて取り入れている	
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	○		・ミーティングの中で計画や保護者、子どものニーズの周知がされており、共通意識を持って支援を行っている	
	15	こどもの適応行動の共有を評価するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	16	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・児童の状況や課題を踏まえ、プログラムの立案を行っている ・普段から各指導員の考えや思いついた事を言葉にするようにしており、皆の意見を柔軟に取り入れて行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・児童の状況やその時に必要な課題等踏まえながらプログラムの立案を行っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで個別支援計画を作成し、支援が行われているか	○		・子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせで支援が行われている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	○		・役割をミーティング等で事前に確認を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・ミーティングで活動の振り返りや児童の状況、必要な支援の話し合い、共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・日常記録を児童の課題や状況を踏まえた上で記載している	
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	○		・日常的なミーティングや児童の状況を踏まえ適切な見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの4つの基本活動(自立支援と日常生活の充実のための支援、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供)を複数組み合わせで支援を行っているか	○		・4つの基本活動を取り入れて支援を行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか	○		・支援の中で児童がどうしたいのか意思を確認し、意見を尊重した上で支援を行っている ・とても多く取り入れている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか	○		・児童発達管理責任者や児童の状況に詳しい職員が参画している ・基本的に児童発達管理責任者、もしくは児童発達管理責任者と関わりの多い指導員が行っている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		・送迎時の児童の引継ぎや必要に応じて学校への連絡を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか	○		・体育活動で地域の子どもと交流できる機会を設けている ・屋外での活動で他社との関りも作っている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		・管理者が参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・活動後の引継ぎやLINE連絡等で保護者との連絡調整を行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・都度説明し同意を得ている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保 護 者 へ の 説 明 等	38	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○		・都度説明し同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	○		・電話連絡やLINE、必要であれば面談等を行い助言や支援を行っている	
	40	保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	○		・定期的に保護者同士が意見を交換できるようなイベントの開催を行っている ・1年に1回以上交流会を設けている	
	41	こどもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・保護者向けの評価アンケートや児童に対しては意見箱(ポスト)等を活用しながら意見の集約及び迅速な対応に努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	○		・SMS(Instagram)やHP等を活用して情報の発信を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか	○		・個人情報の持ち出しの禁止や守秘義務等については定期的にミーティング等で周知を行い、意識づけをしている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・具合的な表現や手順を分かりやすく伝えたり相手に伝わりやすい伝え方や本人の気持ちの受容等、障がいの特性や個人の性格を踏まえ支援を行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・夏祭りイベント等で地域にチラシを配布する等取組を行っている	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・マニュアルの定期的な見直しや実践的な訓練も実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		BCPの策定は行っている。災害の発生に備えた実践的訓練も行い、振り返りから改善に向けて努めている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・医師からの指示を保護者から詳しく聞きしっかり対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分になされた中で支援が行われているか	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか	○		・ヒヤリハットがあった際にはミーティング等で話し合い改善に向けて努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・虐待防止の為、定期的な研修等の中で適切な対応について学んでいる。ミーティング等でも定期的に周知されている ・委員会、研修を行ったり、気を付けるようにポスターや決めたことを見える所に貼り出している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	○		・身体拘束については会議等でやむを得ない状況については話し合いをした上で決定。保護者にも了承をとった上で記載している	